

前期の奈良アンカークラブの再出発を受けて、今期のアンカークラブは8クラブで、佐竹美智子ディストリクト・アンカーコーディネーターのもと、様々な活動をされたこと、心より、感謝と敬意を表します。

ご存知と思いますが、アメリカでは現在、アンカーメンバー数はパイロットメンバー数を上回っています。日本と異なり、高校生までは出身の地域で保護者の下で過ごすのが一般的で、大学生になると、アメリカ各地の大学・専門学校等に進みます。親元から離れる学生達が大半を占めます。学校単位で組織する例が多い、アンカークラブは、地元のHigh School中心です。日本では、教育制度の違い(過酷な受験勉強等もあり)から、大学生の「アンカークラブ」を認めてもらいました。

日本ディストリクトの最初のアンカークラブである鹿児島アンカークラブを筆頭に、日本のアンカークラブは、各地域、また、所属する大学(あるいは高校)で、ボランティアを実践しながら民主主義の理解、リーダーシップ等を身に付けて行っています。これは、各アンカークラブのアドバイザーの先生と、サポートする親パイロットクラブのご努力があってこそです。

数年前から、日本ディストリクトは、アンカーを持つ親クラブだけでなく、ディストリクトに所属する全クラブで応援するプロジェクトを始めました。「アンカー缶募金」もその一つです。また、PIのアンカーへの様々な助成金等も研究して、日本のアンカーへの資金調達にも努力しています。舞浜DCでの、留学生を招いての交流会を含むアンカープログラムは大成功でした。Faith会長も、とても、評価していました。

一人一人が積極的に発言し、ボランティア活動をしながら友情を深め、また、社会人としての「予習」が出来る場として、アンカークラブは大変優れた組織です。どうぞ、OB、OGになっても、アンカークラブメンバーだったことに誇りを持ち、そこで学んだ様々なことを社会に広めて行ってください。

感謝を込めて。

日本ディストリクトガバナー 鎌田 滋子(東京PC)



このアンカークラブニュースは、全国のパイロットメンバーにお届けしますので、例会で回覧して、アンカークラブに触れていただけましたら、嬉しく存じます。

今期は、スポンサークラブのアンケートから、アンカーとパイロットの関係が希薄になっているのではないかの意見を受けて、「アンカー・パイロット会員がともに理解する」を心がけて活動しました。

PIマニュアルではなく、アンカーからの視点にたった「アンカークラブのためのハンドブック」の作成、パイロットなら持っているはずの「アンカークラブのスタンディングルールズ」の作成などを提案しました。基本に立ち返り、パイロットのアンカーとしての活動を、学生たちに理解してもらえることを希っております。

また、コンベンションでは参加した7アンカークラブすべてが全国に向けて活動報告をできたことは、日頃の感謝を伝える良き機会となり、皆様からも「アンカーを理解できた、身近に感じた」ととても好評でした。

アンカー会員は、スピーディに、軽やかにボランティア活動して、その若々しい感覚は、パイロットや社会に限りないパワーを与えています。

パイロットジュニアも、アンカーとパイロットを繋ぐお兄さん・お姉さん役割を果してください、将来は頼もしいパイロット正会員となれる希望の星です。

最後に、今期も缶募金を通して414,498円のアンカー支援金をいただき、本当にありがとうございました。



アンカーコーディネーター 佐竹 美智子(東京PC)



鹿児島アンカークラブ

福山学園訪問

5月28日、福山学園に訪問。障害をもった方達の運動会を行った。福山学園の運動会では、プログラムの補助をメインに、審判や選手として競技に参加している。

競技は「目隠し玉蹴り」など、誰でも楽しめるような工夫がなされている。

この活動は鹿児島アンカークラブのメイン活動の一つである。今後も続けて福山学園に訪問し、イベントを盛り上げ、お手伝いをしていきたい。

(左図・運動会の競技の様子)



ブレインマインダーズ



(右図・ブレインマインダーの様子)

2月13日、柳田保育園にて子ども達に脳の大切さを知ってもらうためにブレインマインダーズが行われた。今回の活動では、昔話「三枚のお札」の人形劇と、博士による卵を使った実験を行った。

脳の大切さを学んだのは、参加した子ども達だけではない。私たち鹿児島アンカークラブのメンバーも学習に参加し、好奇心旺盛な子ども達と共に学び、新しい発見や気付きを得ることができた場であった。

風船バレー

5月21日と7月23日に行われた風船バレー。事前講習会で線審や記録の仕事などを学び、万全の状態で臨んだ。

風船バレーは、障がいのある人とそうでない人が一緒にプレーできるスポーツとして考案されている。そのため、年齢を問わず、誰でも参加できるやさしいスポーツだ。チーム全員がボールに触れなければ相手コートに返せないため、コミュニケーションが大事になってくる。2020年に開催される国体の正式種目になっている。

(左図・風船バレーの様子)





東京アンカークラブ



7月22日(土)
浅草介護老人保健施設敬老会ボランティア 4名



10月1日(日)
パイロットウォーク 1名



5月20日(土)
深谷あゆみ作業所ボランティア 3名



10月21日(土)～22日(日)
文京祭 4名



7月14日(金)
チャリティースポーツ大会 5名
グローバルボランティア部さんと私たちボランティア部の
共同主催のチャリティースポーツ大会



8月26日(土)
文京区こどもまつりボランティア 1名
文京区の自治会の人たちが開催した夏祭りにボランティアとして参加



尾道アンカークラブ

尾道アンカークラブは現在7名で活動しています。主な活動として尾道みなとまつりでのチャリティ茶会、スペシャルオリンピックの練習・大会での補助、大学祭でのはるか展など1年通して様々なボランティア活動に参加しています。



←大学祭でのはるか展にて

はるか展では障がいをもつ方が描いた絵の展示を行います。それに加え今年度からはアンカークラブの活動や脳障がいに関する情報をパネルにして展示しました。



←スペシャルオリンピック水泳大会

私たちはアスリートの招集係として活動しました。アスリートが一生懸命泳ぐ姿と仲間を応援する姿に感動しました。また4月にはコンベンションに参加させていただきました。全国のアンカークラブさんとたくさん意見交換することができ、とても勉強になりました。



東京目白アンカークラブ



20周年記念植樹式



パイロットウォーク2018



心身障がい者デイケア施設でのボランティア



文化祭におけるチャリティーバザー



肢体不自由児通園施設でのボランティア



ブレインマインダーズ



IBU大阪アンカークラブ

大阪アンカークラブの力を入れている羽曳野子供祭りです。

毎年5月5日に行われており、半年前から企画、運営に携わせて頂いております。去年はストラックアウトのブースを担当しました。

非常に達成感のあるイベントで私たちも楽しみながら参加しています。



夏には一年に一度のアンカーキャンプが大阪中心で行われました。

飯盒炊飯やブレインマインダーズを通してアンカー同志の親睦を深めることのできる貴重な場となりました。

大学祭では毎年一年生を中心にブレインマインダーズを行っています。四天王寺大学は3日間大学祭があるので11日公演、全3公演行いました。

観客には小さな子供から保護者、大学生など幅の広い年齢層の方々に見て頂くことができました。1年生もとても良い機会になったと言ってくれました。





奈良アンカークラブ



2017年8月28日（月）～30日（水）

【アンカーキャンプ】

大阪府吹田市にある「吹田市自然体験交流センター わくわくの郷」で、大阪アンカークラブ、高崎アンカークラブと合同で2泊のアンカーキャンプを実施し、奈良アンカークラブからは3名の会員が参加しました。そこでは、他のアンカークラブの活動や意見を交流し、奈良アンカークラブの今後の活動の刺激になりました。中でも、3つのアンカークラブ合同でブレインマインダーズを上演し、その後意見交換をしたことは、奈良アンカークラブにとって、今後の活動の原動力になりました。



2017年12月2日（土）

【奈良パイロットクラブチャリティーバザー】

奈良パイロットクラブチャリティーバザー

奈良パイロットクラブが毎年開催されるチャリティーバザーに、お手伝いをするスタッフとして参加しました。そこでは、奈良アンカークラブも手作り入浴剤を販売させていただきました。手作り入浴剤は完売いたしました。これは皆様のおかげです、ありがとうございました。参加した学生からは「自分たちが一生懸命作った入浴剤だったので、みなさんに買っていただけて本当に嬉しかった。喜んで買っていただける顔を見ることができて良かった。」という声が聞かれました。



2018年2月16日（金）

【西大和保育園にて、ブレインマインダーズを実践】

奈良パイロットクラブの方のご指導の下、河合町にある西大和保育園で4名の会員がブレインマインダーズを総勢100人の園児の前で披露しました。4人ともしっかりとそれぞれの役になりきって、所々で笑いも交えながら、それでも「脳の大切さと脳を守ることの重要性」を一生懸命園児たちに教えている姿が印象的でした。この4名は将来教員を志す学生たちで、多くの子どもの前で一生懸命ブレインマインダーズを披露した今回の経験は、かけがえのない財産になったと思います。参加した学生からは「子どもの笑顔が今も忘れられない、改めて教員になりたいと思った。」と語っていました。



高崎アンカークラブ



フレインマインダースの製作、奉仕活動を通して
他クラブと親交を深めました！



フレインマインダースの発表をしました！



高崎PC様主催のコンサートのお手伝いをしました！



第28回PI日本ディストリクトコンベンション 報告

2017～2018年度 アンカーアワードと活動報告

コンベンションで、今期のアンカークラブのアワード表彰式が行われました。

最優秀賞／東京目白アンカークラブ、優秀賞／奈良アンカークラブ 奨励賞／尾道アンカークラブ またブレインマインダーズをアンカークラブ内に推進した功績により[特別賞]が高崎アンカークラブに贈呈されました。尚詳細のアンカー部活動報告は、コンベンションの添付書類をご参照ください。



留学生との交流会

文京学院大学に留学中のミハエラ ラドスラヴオヴォ デイミトローヴァさん(ブルガリア共和国・国立ベルコタルノボロ大学 応用言語学専攻)とエダ オズレムさん(トルコ共和国・国立アンカラ大学 言語・歴史・地理学専攻)のお二人をお迎えして、日本を選んだ理由や国の文化、日本に来て驚いたことなどをお話いただきました。アンカーさんからは土地柄やボランティア活動など、楽しいコミュニケーションのひとつでした。



ハンドブックやスタンディングルールズ 作成への提案

今期のアンカー会員は8クラブ合計123名でした。以前比べて、アルバイトが忙しい、大学内に多くのボランティア部ができているなど、近年はアンカークラブが活動しにくい環境のようです。

いま一度、アンカークラブが誕生した原点に立ち戻り、他のボランティア部との違い、国際奉仕団体パイロットにおけるアンカークラブの存在を伝えるため、2つのツール作りを提案しました。その原案をもとにこれから一年、クラブ内で話し合い、自分たちが使える身近なツールの完成を目指して、来期のコンベンションで発表してください。

またミーティングでは、①ハンドブックにアンカークラブ設立順に成り立ちを記載しては？ ②情報の伝達(卒業後も)はどのようにしたらよいか？ ③アンカー各自が情報を共有できる伝達ツールとは？など活発な意見交換が行われました。鹿児島アンカークラブ肥後会員が詳しく議事録を取っていただきましたので、次期コーディネーターに引き継ぎます。

今回は、アンカー同士がお互いを尊重し、自由にコミュニケーションをとることができ、さらにコンベンション後に会場使用が許せば、アンカーだけで話し合いしたいと申し出がありました。アンカー会員たちの積極的な参加意識を歓迎いたしました。

アドバイザーの先生方からも貴重なアドバイスをいただき、心より感謝申し上げます。

アンカークラブニュースは、活動している7クラブを掲載しました。
アンカークラブは活動休止中の仙台ACを含め8クラブあります。